

2020年度 IPI 公開講座（録画視聴）ご案内

平木典子&団士郎

心理臨床における個人・家族・社会

新型コロナウイルスは、私たち一人ひとりの心の世界や家族との関係性に大きな影響を与え、社会全体を根底から揺さぶっています。これまで経験したことのない未知の世界で、私たち一人ひとりが個人として、家族として、社会としてのあり方が問われているのかもしれませんが。また、急速に進んだテレワークやオンライン化は、私たちの働き方や生き方を大きく変えつつあります。心理臨床の世界においても、これからはますます、個人と家族と社会との相互影響関係を意識しながら、実践を行っていくことが求められているのではないのでしょうか。

昨年に引き続き、今年も平木典子先生と団士郎先生にご登壇いただくプログラムを企画しました。お二人とも1980年代初頭の日本の家族療法の黎明期から、海外や国内で家族療法のトレーニングを受けられ、家族臨床家としての実践を続けながら、研修やスーパービジョンなどを通して多くの心理臨床家の育成・指導にあたってこられました。そして、援助対象が個人であれ家族であれ、常に両者とそれらを取り巻く社会の変化や多代的な歴史の影響を視野に入れた、統合的なアプローチを実践してこられました。

今回は、「心理臨床における個人・家族・社会」をテーマとして、以下の概要の通り、第1部では平木先生、第2部では団先生にお話しいただきました。その後、第3部では当初予定していた対談という形式ではなく、団先生のユニークな仕事と生き方と子育てについて、平木先生がさまざまな質問を投げかけながら共有し、第1部と第2部が統合される展開となりました。お二人のお話は、視聴者の皆様にとって、心理臨床家あるいは対人援助職としての仕事や役割についてはもちろんのこと、一個人としての生き方や家族や社会との関わりについて、見つめ直す機会になるかもしれません。新たな気づきや成長につながるような、刺激的で豊かな学びの時間になることを願っています。

IPI 統合的心理療法研究所 所長 野末 武義

概 要

第1部：平木典子先生「家族支援・家族療法を学ぶ・伝える・分かち合う」

- ・人は生涯（キャリア）をどのように生きるのか
- ・カウンセリングとは
- ・生涯にわたる個と環境の相互作用プロセス
- ・自己の人生のテーマを生きる支援
- ・Super のキャリア・レインボー

第2部：団士郎先生「私の視点」

- ・クライアント家族に向き合う姿勢と自分自身の家族に向き合う姿勢
- ・私の家族心理臨床
- ・家族は動く：変化しない家族はない
- ・ある家族のジェノグラム：ジェノグラムを読み取る際の自分の見方のクセ
- ・カウンセラーが生まれ育った家族の偏りと想像力の偏り

第3部：平木典子先生&団士郎先生「団先生のユニークな仕事と生き方と子育てから学ぶ」

- ・カウンセラーはブランクスクリーンか？
- ・自分が生まれ育った家族と親としての子育て
- ・親が子どもを応援するとは：親としての子どものキャリアへの関わり
- ・自分自身を生きることと専門家としての資格
- ・50歳での独立
- ・自信と自己実現

録画視聴：2020年7月中旬より配信予定。収録時間約3時間。

8月30日（日）まで視聴可能。

入金確認後、URLとパスワード、PDF資料をお送りします。

- 講師：平木典子（IPI統合的心理療法研究所顧問・元日本家族心理学会会長）
団士郎（仕事場DAN・立命館大学客員教授・元日本家族心理学会常任理事）
- 司会：野末武義（IPI統合的心理療法研究所所長・明治学院大学心理学部心理学科教授）
- 対象：臨床心理士、公認心理師、家族心理士、家族心理士補、家族相談士、臨床発達心理士、精神保健福祉士、児童心理司、児童福祉司、ファミリーソーシャルワーカー、ケースワーカー、家庭裁判所調査官、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、医師（精神科・心療内科・小児科など）、看護師、保育士、教師などの対人援助職の方
心理・教育・福祉・看護など関連領域専攻の大学院生および学部生など
- ポイント：家族心理士・家族心理士補・家族相談士継続研修ポイント取得可能
参加者の割合が基準を満たせば、臨床心理士の研修ポイント取得可能
- 参加費：5,500円（税込）
申込締切：8月1日（土）

<問い合わせ先>

IPI統合的心理療法研究所

〒113-0034 東京都文京区湯島2-23-8 ルーフ御茶ノ水ヒルズ6MB

Tel.03-5846-4770 Fax.03-5846-4771

<https://integrative.jp>

<https://www.facebook.com/ipijapan/> IPI 統合的心理療法研究所@ipi2016nozue